

第12回中性子科学会年会における

## 産業利用相談デスク、産業利用セミナー

開催のお知らせと参加のお願い

東海村の大強度陽子加速器(J-PARC)物質生命実験施設(MLF)が平成20年に稼働を開始し、研究用原子炉JRR-3も加え、日本における新たな中性子散乱研究の幕が上がりました。

分子・原子の構造や運動を精緻に測定できる中性子散乱は新たな機能性物質開発や高性能素材開発に向けた産業利用に大きな期待が集まっております。このような動きを背景に、日本中性子科学会では、より多くの産業界の方に中性子を利用していただくことを目的として、平成24年12月10日(月)、11日(火)の両日京都大学吉田キャンパス百周年時計台記念館において「産業利用相談デスク」の開設および「産業利用セミナー」を開催させていただきます(詳細は別紙参照)。これらは中性子科学会第12回年会(<http://jsns2012.jp/>)の付帯行事として実施いたします。

- これから初めて中性子を利用される方
- すでに利用されているがより高度なデータ解析や利用を考えておられる方
- 大学・研究所の共同研究相手をお捜しの方
- SPring-8に代表される放射光X線や中間子との相補利用を考えておられる方

等どのようなレベルにも対応できる産業利用のための相談デスクを開設いたします。

同時に、中性子産業利用の現状説明と、それに加え産業界からの学術への希望をお聞きし、それに答える形での「産業利用セミナー」を開催します。プレゼンのご希望のある方は、ぜひお申し出ください。

また、産業界と学術が共同研究を行い、成果創出に結びつけるには、「人と人の出会い」、「人と人の繋がり」による相互理解が重要であることは言うまでもありません。ご相談に来られました皆様にはぜひ年会の懇親会にも参加していただきたいと思っています(有料、事前登録必要)。ぜひご参加ください。

日本中性子科学会